

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	糖尿病患者における CGM データから得られた血糖変動指標に関する検討		
1. 研究の目的と方法	近年、持続グルコースモニタリング (CGM: continuous glucose monitoring) の普及が広がっています。私たちは1型・2型糖尿病患者さんにおける HbA1c 値別に見た CGM データを解析して報告しました。現在、CGM から得られる血糖変動指標として TIR (time in range, 血糖値 70~180 mg/dL の1日あたりの割合)、TAR (time above range, 血糖値 180 mg/dL 以上の1日あたりの割合)、TBR (time below range, 血糖値 70 mg/dL 未満の1日あたりの割合) が日常診療で使用されています。2023年に新たな指標として TITR (time in tight range, 血糖値 70~140 mg/dL の1日あたりの割合) が提唱されました。そこで本研究は、過去に報告したデータの事後解析を行い、TITR も含めて血糖変動指標の再評価を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日~2025年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	1型糖尿病の患者さんで、2006年9月~2013年11月の間に附属病院にて糖尿病の教育入院を行い、持続グルコースモニタリングを装着した15歳以上の方。2型糖尿病の患者さんで、2007年1月~2017年1月の間に附属病院にて糖尿病の教育入院を行い、持続グルコースモニタリングを装着した42歳以上の方。両者とも既に先行研究に参加して頂いた方になります。インスリンポンプを使用した方は本研究の対象とはなりません。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	性別、年齢、身長、体重、持続グルコースモニタリングで得られたデータ、血液検査、尿検査、画像検査、心電図検査	
	(4) 情報の取得の方法	過去の先行研究で取得されたデータを二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学講座
		氏名	大野隆行
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ		

	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始日：2023年8月～	
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学講座 研究責任者：大学院生 大野 隆行（おおの たかゆき） 電話番号：03-3433-1111（内線 3125） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。